

♪ シニア便り ♪

定期演奏会の成功に向けて

第18回定期演奏会・実行委員長

松本 良一

一筆吹奏

『役員を経験して』

菊田 貴子

『役員を経験して』

高橋 章子

『役員に就任して』

長土居梨那

『嫁ぎ先』

村山 幸恵

チューニング広場

・管弦楽法 つまみ食い

吹奏楽の楽器の使い方 ~ 基礎の基礎 ~

副指揮者

石井 邦紀

・平成23年度定期総会報告

伊藤 英明



第18号 (2011年7月発行)

発行 北海道シニア吹奏楽団・事務局

編集 シニア便り・編集部

定期演奏会の成功に向けて

第十八回定期演奏会実行委員長

松本 良一

第十八回定期演奏会の準備作業は、皆様のご協力のおかげで、順調に行っております。クラリネットの内田進二さんデザインによるチラシとチケットも完成しました。実行委員会で初めて原画が紹介された時は、皆が「驚嘆の声」をあげた程、とても素敵な仕上がりです。

七月十日、第十回目の実行委員会が開かれ、全曲目が確認されました。以前、総会にてご提示した内容の演奏曲目の他に、アンサンブルや共演の旭小学校の演奏曲も決まりました。改めてご紹介いたします。

第一部

威風堂々 第一番
ペルシアの市場にて
スラブ舞曲
エグモント序曲

第二部

クラリネット・アンサンブル
・マリオネットの葬送行進曲
・ストレンジャー・イン
・パラダイス

サクソフォン・アンサンブル

・Foster Rhapsody

旭小学校

・ヘビローテーション

・あとひとつ

合同演奏

・Monster

第三部

ブルータンゴ

バンドのためのビギン
道内出身歌手当てクイズ

青春時代、与作、地上の星

晴れたらいいね

(曲名・歌手名は極秘事項)

アニメ・メドレー 久石譲作品集
踊り明かそう

アンコール

カヴァレリア・ルスティカーナ
上を向いて歩こう

旭小学校の演奏曲目で、「ヘビローテーション」は、AKB48、「あとひとつ」は朝日放送第九十二回夏の高校野球応援ソング、「Monster」は「嵐」のメンバー大野智主演の日本テレビ系土曜ドラマ「怪物くん」の主題歌です。団員団有志による旭小学校への出張指導も、既に始まっています。

定期演奏会の出欠確認には、四十

名以上の参加希望のご返答をいただきました。不足パートを補うエキスTRAの出演依頼は指揮者・中村暁生先生のご指示に従い、交渉してまいります。

以上、予定どおり順調に進んでおりますが、何と言っても大きな課題は「資金の工面」です。幸い、前年度実行委員である古川亭さんのご尽力により「ヤマハ音楽支援制度・地域音楽活動支援対象コンサート」として助成金をいただくことが出来ました。残りの収入予算は総会にてお知らせし、ご了承を得た通りですが、プログラム広告の依頼は、いよいよこれから交渉作業に入ります。

前年度は、「プログラムのカラー印刷」のための目標金額、200,000円を上回る実績でした。今回は、第二十回目の記念定期演奏会を目前にして、「あまり無理をしないで、頂ける処からは、ありがたく頂戴しよう！」がモットーです。

何分不慣れで、頼りない実行委員長なものですから、「団員の皆様のご助力、ご協力が頼みの綱の心境です。演奏会まで残り二か月ほど、皆様が楽しく活動出来て、結果として素晴らしい演奏会となりますよう誠心誠意努力してまいりますと存じます。実行委員一同、大変張り切っております。

ますので、叱咤激励ご鞭撻のほど、重ねてお願い申し上げます。ごぞいませ。

一筆吹奏

『役員を経験して』

菊田 貴子

私が役員になったのは、確かアルトサクスの出野さんが旦那さんの転勤で退団することになり、その後を私が引き受けたと記憶しています。5年前なので、2期とちよつと役員をさせてもらいました。

役員になる前は、練習に通い、たまに懇親会に参加し、年一度の定期演奏会に出る。そんな感じでした。

しかし役員会に参加し、団のいろんな取り決めなどを聞いていくうちに、事務局、理事、監事、中村先生のご苦労がわかるようになりました。私は役に立つ意見も無く、皆さんのお話を聞いているだけでしたが、



役員会に参加しているうちに、自分
に出来る範囲でシニアの為に何かし
たいという気持ちが高まりました。
私は、できるだけ沢山の方が役員
などを経験しシニアの素晴らしさを
感じてほしいです。

団の皆さんはそれぞれ家庭、仕事
がありシニアに参加されていると思
います。その中で、自分の時間をシ
ニアの為に活動して下さっている
方々がいらつしゃいます。

今回、役員を退任する事になりま
したが、今後も出来る範囲でお手伝
いをして行きたいと思えます。

北海道シニア吹奏楽団は、林団長
の目指す「日本一楽しい吹奏楽団」
だと思います。

『役員を経験して』

高橋 章子

今回役員を退任することになり、
皆様には「長い間お疲れ様でした」
とのお言葉をいただき、大変恐縮し
ております。実は役員をやる前の事
務局のお手伝いが長く、役員は途中
参加で一期と少しの期間だけでした。
事務局のお手伝いは入団した時に
事務局を全てひとりで行っていた当時
の事務局長を心配して「手伝ってや
ってほしい」と声をかけられ始めま

した。しかし当時の事務局長の力に
はなかなかなれず、私自身もあまり
楽器が吹けなくて休みがちに……。

事務局長が替わり、その頃から定
期演奏会や会計のお手伝いをさせて
いただき、皆さんには事務局次長と
持ち上げられて……相変わらず楽器
の演奏はへたくそでしたが練習に着
るのが楽しくなってきました。

私も決してやりたくて役員をして
いたわけではありませんが、シニア
吹奏楽団の歴史、存在方、団員との
交流などで自分の存在価値があがっ
たようで、一生懸命になれました。

みなさんも積極的にシニア吹奏楽
団に関わっていただく。楽し
くなると思えますよ。これからも陰
ながらお手伝いをしていきたいと思
います。楽しいシニア吹奏楽団を皆
で育てあげていきましょう。

『役員に就任して』

長土居梨那



このたび私が役員に立候補した理
由は、シニア吹奏楽団にずっと在籍
していたと思ったからです。正直、

私は進んで前に出るタイプではあり
ませんが、パート内で全役員の菊田
さんの次にシニア歴が長いのは私で
すし、そろそろ私も何かやらねばと
いう気持ちがありましたので……。

私は2005年に入団し、今年の
定期演奏会で7回目になります。シ
ニア吹奏楽団は本当に素晴らしい団
で、その裏ではいつも役員の方々が
支えてこられた事と思います。

今こうして在籍しているのが幸せ
なことです。役員として役に立
つのだらうかという不安はあります
が、まずは2年間、出来る限りの事
をしていきたいと思っております。

総会では承認して頂きありがと
うございました。微力ですがよろしく
お願い致します。

『嫁ぎ先』

村山幸恵

私がシニア吹奏楽団と出会って、
早八年がたちました。

一度はフルートを辞めていたので、
続けられる事をとても嬉しく思っ
ています。私がフルートを続けられて
いる理由は、シニア吹奏楽団でやっ
ているからです。

月二回の練習と、月一回の親睦会、
年に一度の定期演奏会。慰問演奏。
無理することなく、楽しんで続けら

れています。

そんなシニア吹奏楽団に、お世話
になるだけではなく、少しは協力で
できればと思い、今回の役員立候補さ
せて頂きました。

役員としては、まだ何も出来てい
ませんが、徐々にシニア吹奏楽団の
お役に立てるように頑張ります。

そして、去年から今年にかけてシ
ニア吹奏楽団では結婚、出産とおめ
でたいことが目白押しでした。私も
それに続きたいところですが相手も
おりませんので……。私の嫁ぎ先はシ
ニア吹奏楽団と勝手に思っています。
不束者ですがよろしく願います。

チューニング広場

管弦楽法つまみ食い

吹奏楽の楽器の使い方

基礎の基礎

副指揮者 石井 邦紀

これから書くことは、私たちがよ
り良い演奏をするために役立ちそう
な事柄を適当に見繕った内容です。
でも、あまり範囲を広げると收拾が
つかなくなりそうなので管弦楽法の
一部、楽器に係わることに絞って扱

いたいと思います。

私たちは吹奏楽という演奏形態で、実に様々な音楽（ヴィヴァルディやバッハからAKB48まで有り）と有らゆるジャンル）を演奏して楽しんでいきます。その中で吹奏楽のために作曲されたもの（いわゆるオリジナル曲）はどちらかというと少数派になっています。私たちが演奏する曲の中で多くは、オーケストラをはじめピアノや歌など々様々な演奏形態のために作曲されたものを、吹奏楽のために編曲したものです。

作曲家や編曲者の意図を読み解く手だてとして、各楽器の用い方を奏法や重ね方など）知っておくと役立ちます。また、演奏のヒントを見つけることができます。団員の皆様の中には、私よりもっと詳しい方もいらつしやると思います。そんな方は、積極的にネタを提供してください、私一人で考えるよりも役立つものにできると思いますから。さて、団員の皆様がご存じのように「管弦楽法」は主として、「楽器法」と「編曲法」に分けられます。純粋に片方だけの内容でなく、吹奏楽の演奏のために必要と思われることを取り混ぜて書き進めますので、ご了承ください。

オーケストラ（管弦楽団）の楽器群の最も主要な部分は、弦五部（第

1ヴァイオリン、第2ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス）であることは皆さんご周知のとおりですね。そして原則として各パートが複数の人数（1-4型ではそれぞれ7・6・5・4・3フルト。1フルトは2人）で演奏されることもご存じですね。それに、木管楽器群、金管楽器群、打楽器群、時としてピアノやハープ等その他の楽器が加わり、オーケストラの多彩な音色がつけられていきます。

さて、原則的に弦楽器は一つのパートを複数の人数で演奏されますが、その他の楽器はどうなっているのでしょうか。後期ロマン派時代に確立された2管編成では、木管群は、2フルト、2オーボエ、2クラリネット、2ファゴット。金管群は4ホルン、2トランペット、3トロンボーン（+1チューバ）。打楽器群はティンパニとその他の打楽器。これも既にご存じですね。これらの楽器の全てを作曲家は1パート1人の奏者で演奏する様に書いています。つまり、弦楽器以外は全てソロ楽器なのです。最も現在は、当時と比べ物にならないくらい演奏開場が大きくなったために、それに対応できるように弦楽器の人数も増やすことが一般的になり管楽器も幾つかのパートにアシスタントを付けることがあります。し

かしこれはあくまでもアシスタント（補助奏者）であり、常時1パートを2本で演奏することはありません。このことは3管編成・4管編成と大きくなっても原則的には変わりません。そして、それぞれの管楽器の音色と歌い方が際立つ作曲技法（オーケストレーション）が、各作曲家によって工夫され、作品を特徴付ける要素となつていのです。

では、管弦楽曲を吹奏楽に編曲する場合ほどの様になつていのでしよう。中心となる弦楽合奏に相当するのはクラリネット・パートと言つてほぼ間違いはありませんが、完全な正解とも言い切れません。吹奏楽の編成は、オーケストラのように確立されたものがないためです。国や地域、時代の違い等により、様々な編成が存在し、その編成で書かれた楽曲が存在しています。

現代アメリカの代表的な作曲家・指揮者のアルフレッド・リード博士は、必要に応じフルトが加わった、完全にバランスのとれているクラリネット・クワイアーは、伝統的なオーケストラにおけるストリング・クワイアーのように、全体のアンサンブルの音の基本的な色調の基礎を形成します。」と述べ、そのパート分けは、1本のE クラリネット、4・4・4又は6・6にパート分けされ

た1-2本のB クラリネット、2本のE アルト・クラリネット、2本のB バス・クラリネット、および1本のB コントラバス・クラリネットとしています。それに、2本のユーホニウムと2本のチューバで補強するとしています。その他の楽器群はオーケストラの管楽器群・打楽器群と同じ考え方で用いています。

一般的なアメリカの編成に基づく編曲では、弦五部をそれぞれ複数の人数で演奏するフルト（ピッコロを含む3）、クラリネット（E 1・B

3・アルト1・バス1）、サククス（アルト2・テナー・バリトン）、トランペット（コルネット）3、ユーホニウム1、チューバ1のパートに書く場合が殆どであり、リード博士の編成のようにクラリネット・クワイアーを意識したものではありません。また、イーストマン・ウインドアンサンブルでは原則全てのパートを各1本としています。ウインド・オーケストラやウインド・バンドではなくアンサンブルであり、多彩ではあるがスッキリした透明度の高い音色や響きを狙って編曲もされています。



我がシニア吹奏楽団はウインド・バンドの考え方の編成ですが、通常アルト・クラリネットとコントラバス・クラリネットを欠きますし、バス・クラリネットも1本しか有りません。せめて、アルト・クラリネット1本はレギュラーで編成に入っていることが必要かもしれません。特に、現代的なアメリカの編曲を、編曲者の意図するサウンドで演奏する時は欠かせなくなるでしょう。

次に、アメリカ以外の国の例を見てみましょう。管弦楽曲の吹奏楽での演奏と言うと「パリ・ギャルド・レピュリケー」又吹奏楽団「を思い浮かべる方も多いと思います。私も高校生の頃「ハンガリー狂詩曲第2番」のLPを買い、そのオーケストラと比べても遜色のないサウンドに魅了されていました。当時のギャルドの編成は、クラリネット・セクション、サクソフーン・セクション、サクソルン・セクションに、弦五部を置き換えていたと記憶しています。これらのパートは1パートを複数の奏者で演奏し、各セクションの音を重ね合わせることでオーケストラの弦五部を想起させる音色を作り上げていたのです。

サクソルン・セクションはフランス人のアドルフ・サククスによって完成された、E と B のコルネット

ト、B フリユーゲルホルン、E アルトホルン(テナーホルン)、B バリトン、B ユーホニウム、E と B のバスサクソルンの組み合わせの楽器群であり、音色が同一の金管楽器でソプラノからバスまでの音域を埋め、弦五部の様に機能させることを狙ったものです。同様の考えでつくられた木管楽器がサクソフーン・セクションになります。

このサクソルン属の楽器を中心にした演奏形態がブラス・バンドで、イギリスやヨーロッパ各国で盛んであり国際的なコンクールも開催されています。イタリアのカラビニエリ吹奏楽団も、ギャルドと似た考えによる楽器群の編成で30人強の奏者で演奏しています。

(以下、次号に続く)



平成二十三年定期総会報告

去る五月二十九日に平成二十三年定期総会を「中村屋旅館」で開催しました。林団長は今年も元気な姿

を見せられ、団員との交流を楽しんでおりました。

総会は委任状提出者を含めて出席者多数により総会の成立が確認され、開会宣言の後、中村副団長から一年の総括を含めた挨拶がありました。

平成二十二年度は定期演奏会、シルバーハイツ、HTBのテレビ放映、年末には練習場移転という大仕事もあつたが、何れも団員の協力によってスムーズに終了できた。

平成二十三年度は、定期演奏会に加えて「ライオンズ・クラブ」や「シルバーハイツ」の演奏が計画されている。加えて平成二十五年度は創立二十周年という節目の年であり記念事業の準備も始めなくてはならない。大変忙しい状況になると思うが、皆様方のご協力をよろしく願います。

・当団の創設は「下手の横好き大集合」で呼びかけたが、最近は「上手で音楽大好き」の人達が次々に入団しており、団の性格も変わってきたのかなあ... と感じる。技術一辺倒でなく、仲良く楽しくそして音楽を生涯の友とし音楽を通じて交流を図るといふ団の基本方針は変わらないが、今年度は演奏力の向上、あるいは練習環境の整備といった事を少しづつでもやって行きたい思っている。挨拶の趣旨は以上です。

その後、伊藤氏を議長に選出して

議案の審議に入りました。

最初に柿岡事務局長から「平成二十二年事業報告」(団員構成、演奏会実施状況など)、「平成二十二年決算報告」及び「監査報告」があり拍手で承認されました。

また、第十七回定期演奏会の鈴木実行委員会から演奏会は「団員の方々の協力で成功裏に終えることができました。」とお礼の言葉がありました。

引き続き事務局長から「平成二十三年事業計画」演奏活動について、地域との交流について、セミナーセンターとの契約について、マリンバ購入計画等)の説明がありました。

また、楽器購入について、中村副団長から「最終的にはマリンバ、四台目ティンパニー、チャイムを考えているが、当面は演奏の幅を拡げるためにマリンバを購入したい。」との補足説明がありました。引き続き、第十八回定期演奏会の松本実行委員長から実施方針、演奏曲目、予算案等について説明がありました。次に平成二十三年度予算案」の提案説明があり、全て拍手で承認されました。

続いて、役員改選について事務局長から理事二名の改選について推薦候補者の説明があり、拍手で承認されました。

総会で承認された新役員体制は次の通りです。

団 長 林 正輝
副団長 中村 暁生

理事 石井 邦紀
(常任指揮者)

(副指揮者)

石田 由紀

伊藤 英明

長土居 梨那

村山 幸恵

監 事 松本 良一

山田 光国

事務局長 柿岡 武弘

また、役員会提案で役員改選方法見直しの規約改正案について事務局長から提案説明がありました。

提案趣旨は、新役員は総会で選出されるが、総会に提出される新年度の事業計画や予算案の作成に新役員は加わっていない。これらの議論やスムーズな役員間の引継ぎを行うためにも、定期総会前に臨時総会か投票で新役員を決めてはどうか、との提案でした。

議論では、組織はずっと続くので、この時点で切っても継続性などの課題は残る。事業は総会で承認されたものであり、新役員はそれを実現するために引継ぎを行い業務にあたるわけだから現行で問題は無い。等の意見が多く、「現状のままで良い」とする対案とを挙手により決をとった

結果、役員改選は現状の通りとすることに議決しました。なお、この件については役員会で引き続き検討して行くことになりました。

その他意見交換では、

・アドバイザーについて「演奏技術に関することだけでなく、楽器のこと、音楽創りに関すること等、有能な方が大勢いるので、是非声を掛けて活用して欲しい」

・練習環境について「指揮者や連絡事項の話が聞き取りにくい。」「私物だがPAとかマイクを練習場を持って来ているので活用して欲しい。」

・パークカッションについて「パークカッション購入に多くの予算が使われている感じがするが、演奏者が少なく楽器が有効に使われていない。団員の皆さんが納得して予算が使われているのか不安だ。」「どこの楽団でも、楽器は団持ちと云うのが常識である。団員募集は常に行っており、知り合い等に声を掛けて欲しい。しかし、楽器が多いからと云って団員を増やせば良いと云うものではない。曲によって必要人数が決まるが、余った団員は練習に来なくて良いという訳にはいかない。当団では5人程度が適正と思う。」

・ライオンズクラブ演奏について演奏は平日なので職場から直接会場に来られる方も居ると思うので駐車場

は確保する。謝礼が十七万円となっているが、出演料という事ではなく楽器寄贈という事で出される。」

・二十周年記念事業について「準備委員会を立ち上げるが、クラリネットパートの担当となる。二十年の節目となる団員も多いと思うので、予算は有効に使用させて頂きたい。クラリネットパート以外の方にもお手伝いをお願いするが、快く引き受けて欲しい。」

など、活発な議論と沢山のご意見を頂きました。

編集余録

・今年は夏が来るのだろうか？と心配でしたが、いつも通りの暑い夏がやって来ました。クーラーの備えの無い我家にはチョッと辛い季節です。それは、閉め切った部屋でのホルン練習は汗との戦いになることです。日課にしているウォーキング時に、涼しい川辺でサクスの練習をしている若い人に出会うことがあります。私にその様な所で未熟な音を出す勇氣はありません。私にとつて、ホルンを吹くことは暑さに耐える忍耐力をつけることなのか？

(伊藤)

・今回は私も原稿を書かせて頂きました。読んでみればなんてことない文章なのに、すごく悩みました(苦笑)。文章を書くのが得意な人がうらやましいです。そうしたら今頃私も小説家になっていたかも知れませんね(笑)。体育館での練習は暑さ厳しいですが、飲み物や扇子を携帯してなんとか乗り越えましょう！

(長土居)

・今回、定期総会で新しい一年の活動が始まりました。役員も交代し、退任された菊田さん、高橋さんには感謝の想いでいっぱいです。本当にお疲れ様でした。シニアの「うっかり八兵衛」な私ですが、微力ながら新役員のお二人と共にまた一年頑張らせて頂きたいと思えますのでよろしくお願ひいたします。(石田)

